

働きにくいのは誰のせい？

なぜ労働条件は悪化するのか

ブラック企業が社会を脅かしていることは、みなさんもご存知だと思います。ブラック企業とは、過重労働・違法労働・パワーハラによって社員を使いつぶし、次々と離職、また、最悪の場合は、過労死に追い込む企業を指します。

日本には労働基準法があり、労働者の権利は保証されています。それにも関わらず、なぜ多くの違法労働がまかり通っているのでしょうか？

それは、労働者の権利というものは、私たちが実際に、会社に対して主張し、勝ち取っていかねばならないものだからです。私たちが声を上げなければ、当然会社は労働者にとって不利な環境を作り上げていきます。

もちろん、労働者一人で会社に権利を主張しても、会社は痛くもかゆくもありません。しかし、多くの労働者が団結し会社に要求し続けたらどうでしょうか？

みなさんは、労働組合の重要性を理解していますか？働きやすい労働環境は、私たち自身が作っていかねばなりません。

思考停止による悲劇とは

みなさんは、毎年自分の時間で健康診断を受診していると思います。しかし、その健康診断（医学適正検査含む）が来年より労働時間となりました。これはなぜでしょうか？会社が社員のことを思っただけでしょうか？違います。私たち労働組合が、ずっと前から声を上げてきたからです。

何を言っても会社は変わらない。世の中そんなもの、このような話をよく耳にしますが、会社や世の中を「そんなもの」にしているのは、一体誰でしょうか？

他の会社はもっと酷い、JR九州はまだマシな方だ」と考えている方も多いことでしょう。本当にそうでしょうか？そのように現実から目を逸らすことで、気付いたときには、他の会社の方がよっぽどマシ、ということも考えられます。余計なことは考えない」のは自殺行為に他なりません。

会社にではなく、身近な人に相談することくらいはできるはずですよ。



会社の目的は、労働者を幸せにすることでしょうか？



第 82 号
2017年 11月1日
発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号
ニッコーハイツ1003号
JR 092-2075
NTT092-483-1515